

# 殺人マダニから自分を守ろう

## 1) 殺人マダニから自分を守ろう

近年特に西日本で殺人マダニによる死者がでていることは皆さんご存知ですね。刺されても痛くない、が、刺したマダニが SFTS というウイルスを持ったマダニだと大いに危険なのです。病名は重症熱性血小板減少症候群（SFTS 感染症）といい、4月14日のテレビ朝日の報道によると全国で56人が感染し、22名の死亡という非常に致死率の高いマダニです。現在のところ新潟県での感染報告例はないようですが隣接県ではすでに感染者が出ています。我々の行動範囲、つまり新津ハイキングクラブの行動エリアにはマダニがいるという前提で行動することが「殺人マダニ」から自分を守る基本中の基本ということになります。ではどうするのか

**[症状]** 刺されても痛みやかゆみはなく、1～2週間後に発症するが症状は発熱、下痢、嘔吐があり死に至ることもある。

**[対策、対応]** 活動中は長袖、長ズボン、裾を締めるなど。(真夏の暑い時には

かなりきつい事ではありますが) また、刺されたら皮膚科、内科を受診する。その際はマダニに刺されたと告げることが重要。

**[予防スプレー]** 薬局で入手できる薬はいずれも医薬品で

(1) 池田模範堂のムヒ虫よけ

「ムヒペールPS」200mg

802円(税込)

(2) アース製薬の「サラテクトFA」60mg

718円(税込)

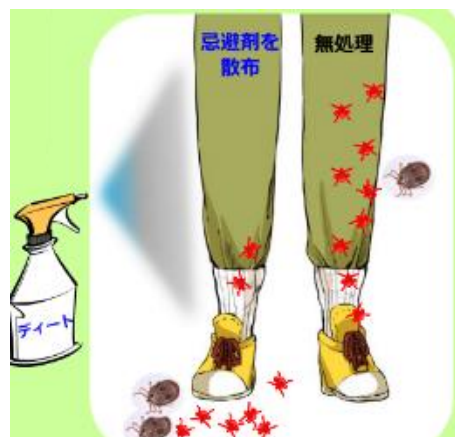
の2種類がある。

露出している部分に噴霧し、汗で流れたら、もう一度噴霧することが必要です。

4月30日現在ウオロク新津店内のココカラファイン(旧コダマ薬局)での情報です。

### **[身を守る方法]**

- (1) ガムテープ：服に着いたダニを取り除く方法も効果的。
- (2) 家に入る前に服、ズボンなど確認し、家の中に持ち込まない。習慣をつけましょう！
- (3) シャワーや入浴でダニが付いていないかチェックしましょう。



予防スプレーと無処理比較例